

地理空間情報を活用したビジネスアイデアコンテスト

『イチBizアワード』

賞金総額
200万円(予定)

📍 アイデア大募集！

地理空間情報を活用したアイデアで事業化を目指す方、
現在の事業のさらなる発展を目指す方、
あったらいいなというちょっとしたアイデアをお持ちの方、
みなさまからのアイデアを大募集中です！

📍 地理空間情報とは？

「いつ、どこで、何が、どのような状態か」といった、
位置や時間と関連した情報のことです。
またこれらに関連付けられた各種情報（混雑状況、建物の構造、
表面状態など）も含んで地理空間情報と呼ばれます。
例えば自動運転を実現するための3次元の地図情報や、
混雑回避機能をもつナビゲーションシステム、
店舗出店計画を立てる際に参考となる人流状況、
自然災害の被害予測のためのハザードマップなど、
生活をより便利にするため多くの場面で活躍しています。

📍 募集対象者は？

- ・年齢制限なし。
- ・地球上において個別連絡先が存在する方（国籍・居住地不問）。
- ・御自身で応募する場合：個人又はグループ
- ・推薦をする場合：推薦したい人又はグループ
本コンテストの趣旨に合致する取組を行っている方、
アイデアをお持ちである方を推薦いただけます。
あなたが応援したいと思う個人又はグループの方を
ぜひ推薦してください！

募集期間

2022年7月19日(火)～9月30日(金)18:00 まで

📍 協力協賛企業募集

本コンテストの趣旨に賛同し、
応募アイデアを応援いただける企業様を募集しています。
こちらのフォームよりお気軽にお問い合わせください



📍 公式Twitter

地理空間情報の活用事例や
本コンテストの最新情報をお伝えします。
ぜひフォローをお願いします！
https://twitter.com/g_ideagojp



📍 応募方法

こちらのURL、QRコードから
ご応募ください。
お一人様何件でも
御応募いただけます。
<https://www.g-idea.go.jp/>



『イチBizアワード』 スケジュール

7月19日応募受付開始



9月30日応募締め切り



書類選考



最終審査プレゼンテーション



結果発表・表彰

2022年12月6日(火)～7日(水)

※「G空間EXPO2022」会場内で発表・表彰

審査方法

業務実施機関による形式確認後、本コンテストの審査委員会、及び協力協賛企業による審査を実施します。審査を行う審査委員会には内閣官房、外部審査員が含まれます。

審査は書類選考による予備審査とプレゼンテーション選考による最終審査の2段階で行います。審査は「提案アイデアのみ」に対して行われ、提案者の過去の経歴・過去の業績・性別・年齢などの背景は審査の対象には含まれません。

審査は絶対評価であり、受賞数は決まっています。予備審査を通過された提案者（ノミネート者）には10月18日の18:00までにご連絡します。各企業からの企業特別賞については当該企業が審査を行います。

協力協賛企業との マッチング

協力協賛企業が審査中にマッチングしたいアイデアを発掘した場合、審査終了後にその希望を業務実施機関に伝えます。

その後、業務実施機関から応募者へ連絡を行い、応募者が希望する場合、事業化に向けた具体的な検討を企業と応募者との二者間で進めることが可能です。

協力協賛企業については確定次第、順次公式サイトで発表いたします。

有識者審査員紹介



齊藤 香

株式会社 Niantic

グローバルコミュニケーション ディレクター

「Ingress」「Pokémon GO」等、世界的な位置情報 AR ゲームを開発する Niantic の広報を担当。以前には Google、Twitter などの日本法人およびサービス立ち上げ時の 1 人目の広報など、外資系サービスの日本国内での爆発的な普及に貢献。

<https://twitter.com/kaoris>



齋藤 精一

パノラマティクス

主宰

グッドデザイン賞審査委員副委員長、トバイ万博での日本館クリエイティブ・アドバイザー、大阪・関西万博 People's Living Lab クリエイターなど様々な分野で活躍。社会をより良く変えるため、都市開発や地方活性、スマートシティの実現など大きなスケールでの社会実装に注力するクリエイター。

<https://panoramatik.com/>



柴崎 亮介

東京大学 空間情報科学研究センター

教授

政府の関連計画の策定等にも深くかかわる地理空間情報研究における第一人者。他方、「情報銀行」という個人の行動・購買履歴等の情報は、ユーザー自身が活用すべきという構想を打ち出し、TEDxTokyo でも同構想について講演。

<https://shiba.iis.u-tokyo.ac.jp/>



島田 総一郎

日本テレビ放送網株式会社

チーフプロデューサー

「ザ!鉄腕!DASH!!」のプロデューサーとして福島の「DASH村」等に携わる。他にも「嗚呼!!みんなの動物園」「幸せ!ボンビーガール」「マツコ会議」等、幅広い年代に愛されるコンテンツを生み出すヒットメーカー。

<https://twitter.com/udontabetaro>



豊田 正史

東京大学 生産技術研究所

教授

SNS や IoT などのビッグデータの解析・可視化に関する研究者。UGC が一般的となった 2011 年には一般ユーザーに開かれた研究発表の場を作る「ニコニコ学会β」の発起人として参加。UNIX ユーザおなじみの豪華版 sl コマンドの開発者でもある。

<https://twitter.com/toyodam>